

事業概要 【社会教育施設デジタル化によるサービス向上事業】

事業概要	貸館を行っている社会教育施設に公共施設予約管理システムを導入し、現在紙ベースで対面で行っている予約管理業務をオンラインに移行し、24時間いつでも空き照会や予約・精算を行う環境を構築し利用者の利便性向上と利用促進を図る。平行して町内の学校開放を行う小中学校と屋外体育施設にスマートロックを導入し、利用者自身が鍵の開閉が出来るようになり、予約管理システムとの連携により、利用状況の把握や精算を非対面で行う事が出来るようになる。
具体サービス	【公共施設予約管理システム】 〈対象：学校開放含む体育施設／公民館〉 ・オンライン上で24時間横断的に空き状況の確認が可能となり、いつでも予約が可能となる。 ・予約管理、許可系帳票をペーパーレス化し、オンライン上でのキャッシュレス決済や請求書発行が可能となる。 【スマートロック】 〈対象：屋外体育施設及び学校開放小中学校 計7箇所〉 ・施設入口付近にワンタイムパスワードで開閉可能なスマートロックを設置した鍵BOXを設置し、管理システムにより入退場管理を行う。 ・利用を許可した団体に利用開始前にパスワード等をメールにて通知する。 ・事前の鍵の受渡や管理人の配置が不要となり、遠隔での施錠等実態把握が可能となる。 施設利用までの流れ（①予約▶②支払い（予約確定）▶③暗証番号発行） ①予約 ②予約承認後、施設予約時間に解錠可能な暗証番号発行を指示 ③暗証番号データ送信 ④発行した暗証番号情報送信 ⑤メール通知 ⑥利用暗証番号入力 ⑦操作履歴 ⑧メール通知 解錠しました。 〇月〇日△△時から□□時まで暗証番号####で入室できます。 いつでも貸館 KEY->Po 時刻キー配信システム (キーボ) 予約 利用者 施設 施設管理者
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①システム経由の予約件数割合 ②システム利用登録済みの利用者数 ③スマートロックの導入に伴い減少する対面での鍵の受渡し件数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①システム導入に伴うアナログ対応時間の短縮効果 ②システム導入に伴い利便性向上を実感した利用者の割合 ③スマートロックの導入に伴い利便性向上を実感した利用団体の割合